

林市長に22年度予算要望書提出

生活者視点で安心な社会を

公明党横浜市会議員団

仁田まさとし

公明党市会議員団は11月2日、林市長に対し平成22年度横浜市予算の要望書を提出しました。

この要望書の作成は、次年度の予算編成を前に毎年行っているものです。要望書では、生活者の視点から

安心して暮らせる社会を実現するため、市民の切実な声を具体化した課題を提案しているほか、視察調査な

で実現しなければなりません。その視点から市全体と各区を合わせ、232の要望を行いました。

6項目の最重要要望

最重要要望として、世界から選ばれる都市 子育て支援の充実 高齢社会に安心 健康社会の構築 横浜経済の活性化 市民本位の行政運営 の6項目を掲げました。

ピースメッセージ

横浜市22年度予算編成では、すでに530億円の収支不足が見込まれています。しかし、財源不足を理由に市民生活の質の低下を招くことは避けるべきです。横浜経済の活性化と少子高齢化が進む中での市民生活の安心は最大限の努力

子育て支援の場を中学校区単位に広げるほか、小児医療費助成制度の対象を小学3年生まで拡大し、所得制限の撤廃を求めます。介護人材確保の強力な取り組み、敬老バス事業の継続などを要望します。

女性特有の子宮頸がん、乳がんの検診率向上への周知を望み、マンモグラフィ検診の受診機会確保の支援を要望します。商店街活性化は経済の

観点だけではなく、高齢社会のまちづくりの視点から構築を提案します。昨年4月に廃止される

公明党市議団は、この要望書に沿った質疑を今後の市会で展開し、実現を目指します。



林市長に要望書を提出



仁田まさとし プロフィール

- 都市経営・行政運営調整委員会副委員長
- 安全安心都市特別委員会委員
- 公明党横浜市会議員団団長
- ◇施政方針は「大胆に挑戦、誠実に実現」
- ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>